

生涯教育研修会報告（平成 27 年 1 月 24 日実施）

担当；医療事業部

日時；平成 27 年 1 月 24 日 9:30~16:40

場所；松山市立子規記念博物館 4 階講堂

参加人数；延べ 129 名（Ⅰ講義；123 名、Ⅱ講義；128 名、Ⅲ演習；64 名）

【講義内容】

Ⅰ. 講義（9:30~11:00）

講師；日本栄養士会医療事業部企画運営副委員長西村一弘先生
「薬の知識を栄養管理に活かそう」

1.薬と食物の体の中での流れ、2.薬の投与方法による血中濃度変化の薬理作用、3.薬と食物の相互作用、4.降圧薬の作用機序、5.糖尿病治療薬の効果・薬理
日常の栄養管理に於いて、薬の知識を持ち注意するポイントを押さえ総合的に考えていくポイントを学ぶ事が出来る内容であった。



Ⅱ. 講演（11:10~12:40）

講師；日本栄養士会医療事業部企画運営委員長石川祐一先生
「CKD の栄養食事指導～生活・食事指導マニュアルの活用法～」
企画運営委員長の立場から、入院時の食費の段階的な値上げや生涯教育制度について最新の情報提供があった。
CKD の定義・重症度分類・患者数・生活指導・食事指導、現在行われている腎疾患重症化予防のための戦略研究 FROM-J(CKD 戦略研究)、生活・食事指導マニュアルの具体的な使い方等、幅広い内容であった。



Ⅲ. 演習（13:30~16:40）

講師；日本栄養士会医療事業部企画運営副委員長渡辺啓子先生
日本栄養士会医療事業部常任企画運営委員中川幸恵先生
「CKD の症例検討から食事提供まで～ワールドカフェ方式を学ぶ栄養管理と食事管理～」

腎臓の解剖、腎臓の生理と機能、慢性腎臓病(CKD)とは
CKD の食事療法について講義があった。その後、1
チーム 6~7 人で、自己紹介の後、チーム名を決め、
症例検討を行った。1 チーム 1 枚の模造紙に、与えら
れた課題の考えられることを各自メモし、チームで話し合いをして結果を 1 枚の紙に書いて
ボードに貼る、というワールドカフェ方式を実践した。チーム名では、小顔チーム、スイ
トピーチーム等印象に残るチーム名があり、笑いの絶えない演習であった。また、実際
にチェックリストを使用して、症例検討をすることで指導の優先順位も明確になり、職場
でも使用できる方法を学び有意義な研修となった。



文責；医療事業部広報 永井美保
(平成 27 年 1 月 27 日作成)